

## (IV-11) 浦和駅周辺鉄道高架化計画

JR東日本 東京工事事務所 正会員○ 深尾 和代  
埼玉県 住宅都市部 長浜 嶽  
浦和市 市街地開発部 小泉 俊一

### 1.はじめに

JR浦和駅は、埼玉県の県庁所在地である浦和市中央に位置し、東京駅から約25km、新宿駅から約21kmの距離にある。乗車人員は1日当り約7.5万人の通勤駅であり、東北旅客線と京浜東北線の停車駅である。

本論文は、浦和駅周辺鉄道高架化計画に伴う都市計画決定に至った経緯と、施工方式の検討について紹介するものである。

### 2.高架化事業の概要

浦和駅周辺鉄道高架化事業は、都市基盤整備における浦和駅周辺のまちづくりの一環として行われる。駅周辺の東西市街地を一体化させ、円滑な交通体系を確保するためには、都市計画道路田島大牧線の拡幅整備が不可欠となる。また、そのためには同道路の空頭を4.7m以上確保しなければならず、同道路と鉄道の立体交差化が必要となる。立体交差化を検討した結果、鉄道の高架化が妥当との結論に至った。(図1)

本施工区間における都市計画道路は、田島大牧線が1つしかなく、踏切の除却も発生しないため鉄道高架化事業の事業手法としては、「限度額立体交差化事業」として行われる。

しかしながら、本事業は「連続立体交差化事業」に準じて、同事業範囲を「都市高速鉄道」として都市計画決定する予定である。

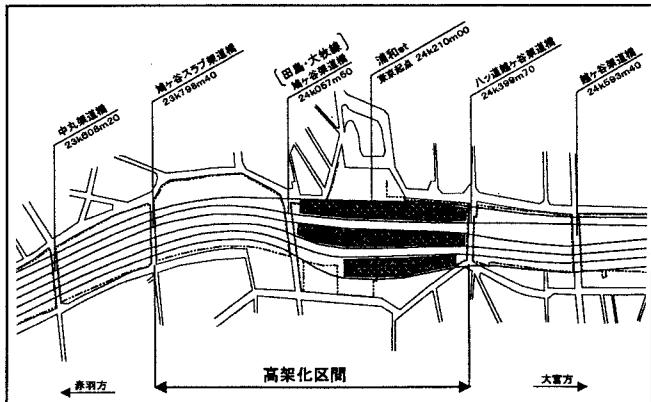


図1 浦和駅周辺鉄道高架化事業計画平面図

### 3.施工方法の検討

施工区間は浦和駅を中心とした延長約1.5kmであり、京浜東北線及び東北線を東側に最大13.5m移動して高架化する。高架化事業の事業主体は埼玉県である。

施工方法としては、南浦和駅寄りは、最終的に現鉄道敷きに高架構造物を収める「仮線高架方式」を、駅部～北浦和駅寄りは「別線高架方式」を検討中である。(図2)

#### (1) 仮線高架方式

現京浜東北上り線の東側に仮線を設け京浜東北上り線を移動、以後1線毎に高架化し、4線を高架化した後振り戻し、最後に仮線を撤去する。

仮線施工とした場合、南浦和駅寄りは、工事期間中市道上空を一部占用し、京浜東北上り線が最後まで仮線(工事柵)として必要になるが、縦断方向の永久的な市道上空占用を回避することができる。

キーワード：鉄道高架化事業、仮線高架方式、別線高架方式、都市計画決定

連絡先：東京工事事務所開発調査室 東京都渋谷区代々木2-2-6 tel 03-3370-9087 fax 03-3372-8026

## (2) 別線高架方式

現京浜東北上り線の東側に新京浜東北上り線の本設高架橋を新設し、京浜東北上り線を移動、以後順次西側に向かって1線ずつ構造物を構築する。また、駅部には別線施工終了後、最後に現在の東北貨物線にホームを新設整備する。

別線施工とした場合、北浦和駅寄りは、工事用地として必要となる民地を買収して施工するため、仮線施工のように工事桁を使用することなく施工することができる。

## 4. 鉄道高架化事業に伴う都市計画決定

### (1) 都市計画決定に至った経緯

浦和駅周辺では、関連する都市計画道路田島大牧線や、東西の市街地再開発事業が、既に都市計画決定されていることから、鉄道高架化事業についても都市計画決定し、都市基盤整備におけるまちづくりの整合性と一体性を確保し、円滑な事業の推進を図る必要があった。そのため、浦和駅周辺鉄道高架化事業の事業手法は、「限度額立体交差化事業」で行われるが、鉄道高架化事業における都市計画決定の必要性等を検討した結果、鉄道高架化事業においても都市計画決定を行うことが妥当との結論に至った。

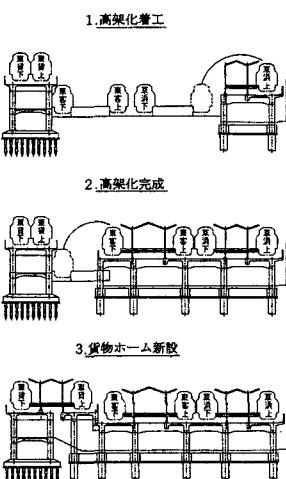
### (2) 都市計画決定の意義

- ① 都市計画法第53条の規制がかけられ、事業施工の障害となる恐れのある建築に対し、適正な制限を加えることができる。
- ② 土地収用法の適用が受けられ、税法上の優遇措置があるため、迅速な用地交渉を行うことができる。
- ③ 駅周辺の市街地再開発事業や都市計画事業との整合性、及び一体性が図られる。
- ④ 事業化の必要性が評価されやすく、国庫補助の対象となる。

### (3) 都市計画決定の範囲

都市計画法第11条による都市施設としての都市高速鉄道の都市計画決定は、都市計画がその施設の機能を発揮する区間を単位としていることから、鉄道としての機能を発揮する駅間を都市計画決定することになる。本事業における都市計画範囲を図3に示す。

## 【別線高架方式】



## 【仮線高架方式】

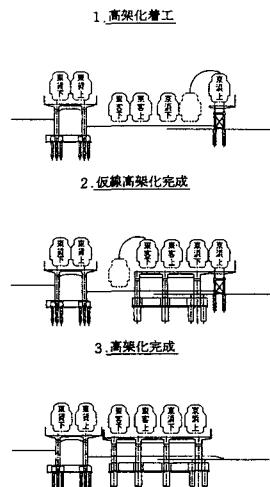


図2 施工方式別施工順序図

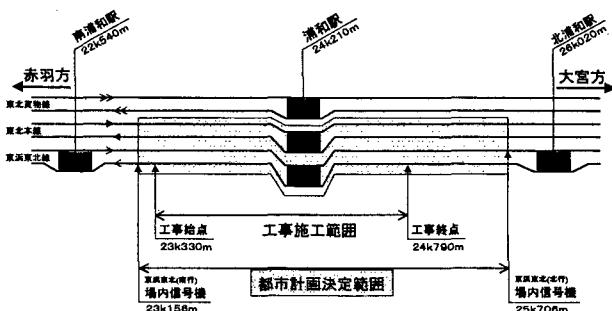


図3 浦和駅周辺鉄道高架化計画における都市計画決定範囲

## 5.まとめ

都市計画決定に関する今後の主なスケジュールとしては、平成11年1月に浦和市都市計画審議会、3月に埼玉県都市計画地方審議会が予定されている。都市計画決定をうけた事業認可に向けて、施工方法の詳細について、工期短縮と事業費の削減を念頭に最良の施工方法を現在も検討中である。